



国際プラザニュース



発行: (公財) 宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 ホームページ: <https://www.mif.or.jp/> E-mail: miyainfo@mif.or.jp
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

国際交流員とのおしゃべり会♪

外国人の参加も歓迎! ※要申込み・無料

☆イギリス出身マーシュさん (日本語と英語)

◇日時: 3月18日 (金) 18:00~19:00

◇申込締切: 3月15日 (火)



☆シンガポール出身スカイさん (日本語と中国語)

◇日時: 3月22日 (火) 15:00~16:00

◇申込締切: 3月18日 (金)



※申込みはお電話または来館にて受け付けております。

※だれでも参加できますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため少ない人数(4人)で開催します。

初回参加者優先で先着順です。

※新型コロナウイルス感染状況によっては変更・中止する場合があります。ご了承下さい。

◇申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会

外国人のための日本語れんしゅう会

※申込み不要・参加費無料

◇日時: 10:30~11:30

[水曜日] 3/2、3/9、3/16、3/23、3/30

[金曜日] 3/4、3/11、3/18、3/25

◇場所: カリーノ宮崎 地下1階

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 矢野)



国際交流ボランティア (通訳) 登録募集

当協会では、宮崎県を訪れる外国人との交流を目的とした国際交流ボランティアを募集しています。ボランティアに興味のある方は、お気軽に当協会にお問い合わせください。

◎登録資格 (通訳)

- ・県内在住の満18歳以上 (高校生を除く)
- ・国際交流ボランティアとして活動意欲のある方
- ・日本語及び外国語が日常レベルの方

※英語に関しては英検準1級以上、またはTOEIC730点以上、

あるいはそれと同等の語学レベルの方

・有効期限: 登録した日から翌々年度の3月末まで

◇申込み・問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会



●外国人ボランティア募集

国際ふれあいチャットボランティア募集

英語、中国語、韓国語でのおしゃべりを楽しむ「国際ふれあいチャット」を開催する際に、お手伝いして下さる外国人ボランティアを募集しています。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会



広報紙「South Wind vol.100」を発行しました!

(公財) 宮崎県国際交流協会は広報誌South Windを年に2回発行しています。なんと今回は1990年に創刊号が発行されて以来、発行第100号を迎えました!

最新号 (2022年3月号) の内容は、

- ・特集「第16回世界とトモダチみやざき国際フェスタ」各ブースの展示やアートフェスティバル最優秀作品の紹介など
- ・第16回外国人住民による日本語スピーチコンテスト 学生の部 最優秀賞 リカードさん 「私と日本」※スピーチ原稿掲載 一般の部 最優秀賞 ラム ティ トウ ホアイさん 「日本は赤唐辛子」※スピーチ原稿掲載
- ・South Wind100号に寄せて 宮崎県国際交流協会30年間の歩み
- ・宮崎県国際交流協会ニュース 本年度開催した講座の紹介 ・ ・ ・ など盛りだくさんです



ホームページではバックナンバー (vol.88~vol.99) も公開しています。ぜひご覧ください!

※South Windは日本語のみです。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 矢野)

宮崎県国際プラザご利用案内

宮崎県国際プラザでは以下の業務を行っております。ご利用の際は、お気軽に当協会にお問い合わせください。

◇図書貸出し

外国語書籍、多文化共生、留学、語学学習などの書籍があります。1人につき2冊まで、2週間借りることができます。

◇掲示板

国際交流・協力、多文化共生に関する情報を掲示しています。情報交換の場としてもご利用いただけます (交流、語学学習、不要品提供等)。A5~A4サイズで、2週間掲示できます。

◇国旗の貸出

県内の学校や地方公共団体、国際交流団体等に国旗や卓上旗の貸出を行っています。事前に当協会までお問い合わせください。

◇わーるどBOX

各国地域の代表的な民族衣装や楽器、玩具等の貸出を行っています。今年度は、県内の高等学校の文化祭や図書室の展示として、チェコ、韓国、シンガポールの民族衣装を貸し出しました。また、小学校では外国語の授業で数か国のわーるどBOXを活用いただいています。さらに、国際交流事業では、実際に着用もしていただき、国際理解教育に役立っています。※国により多少内容が異なります。詳しくは協会HPでご確認ください。

◇使用済み切手・ハガキの収集

民間の国際協力団体に送られ、役立てられます。台紙を、切手から5mm~1cm残してください。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会



宮崎県国際交流協会の図書・新書のご案内

図書コーナーより、オススメの本・新書を紹介します。
お立ち寄りの際には、ぜひ手にとってみてください。



「新 移民時代

～外国人労働者と共に生きる社会へ～

本書は2016年12月から西日本新聞に掲載された「新 移民時代」のコラムを再構成し、まとめた著書です。少子高齢化の進む日本では、外国人人材の受け入れ無しでは暮らしが成り立たないともいわれており、多くの外国人が私たち日本人と共生している風景が当たり前となっています。日常の中で出会う、見かける外国人たちはいったいどこから、どんな経緯で来たのか、日本でどのような暮らしをしているのか・・・。
鋭く深く調査された取材によって、日本に住む外国人の実態を知ることができます。

「世界からコーヒーがなくなる前に」



30年後にはコーヒーが存在しない？

世界のコーヒー消費量は伸びる一方、コーヒーを栽培できる耕作地は気候変動により減り続けているそうです。世界でも有数のコーヒー消費国フィンランド出身の著者が、世界一の生産量を誇るブラジルのコーヒー生産者の元へ取材し、コーヒー産業の課題と解決策を突きとめるノンフィクション。環境にも経済にも良い影響を及ぼし、美味しいコーヒーを飲み続けることができる未来のためにも、消費者は何をすべきなのか？コーヒーのサステナビリティ（持続可能性）を考えるにあたり良いヒントを与えてくれる一冊です。

「ベトナムのことがマンガで3時間でわかる本」

みなさんは、宮崎県に住む外国人の国籍のうち、どこの国の方が多く住まれているかご存じでしょうか？

宮崎県では「ベトナム」籍が約2,500人と最も多く、そしてベトナム人の増加率が15.5倍と全国1位(令和2年時点)でもあります。本書は30年以上ベトナムの変化・停滞・成長を見続けてきた、ベトナムビジネスに詳しい福森哲也氏によって書かれていた本です。内容はフランス植民地時代を経て現在のベトナムにいたるまでの歴史・現在の経済状況・政策などがマンガと解説形式によって書かれ、ベトナムの国内事情が良く分かります。ベトナムはGDP7%で経済成長率が高く、国民の平均年齢が約31歳と若い国です。ベトナム人の存在が身近になりつつある今、その国民の働きぶりや暮らしぶりを、本書を通してのぞいてみませんか？

くみやざき外国人サポートセンターからのお知らせ

外国人のための生活相談会 in 都城

生活していてわからないこと、困っていることを相談できます。自分の国の言葉で相談できます。(翻訳機、電話通訳を使うことがあります)。秘密は守ります。

※新型コロナウイルスの状況によってはキャンセルになる場合があります。その際はオンライン(Zoom)での相談を受け付けます。

◇日時：3月19日(土曜日) 13:00～15:30

◇場所：未来創造ステーション 市立図書館 Mallmall 2階

◇申込方法：予約優先。直接来られても対応可
(※一人30分まで)

前日までにメールかFAXで ①名前 ②連絡先(電話番号)

③相談したいこと ④相談に使う言葉を教えてください。

◇問合せ：みやざき外国人サポートセンター

TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902

E-mail：support@mif.or.jp



Website



Facebook



Instagram

スタッフのつぶやき

トマトは果物それとも野菜？

食卓の彩りを飾ってくれる赤い実、トマトですが、中国語では「西红柿」または「番茄」と書きます。私たち日本人にとっては野菜に分類されるトマトですが、台湾人にとっては果物としての認識が高いです。自説になりますが、台湾のトマトは実がととも甘くジューシーで、外の屋台では糖葫蘆(トマト飴)のようにデザートとして親しまれているからではないかと思えます。現地のスーパーに行くと、果物置き場に並んでいる台湾産のトマト、ぜひ一度ご賞味ください。(スタッフU)



VS



♪プラザニュース 韓国語版より

“アンニョン、宮崎！”



県国際交流員
パク ユジン

卒業の時期である3月、「別れの季節」とも呼ばれますね。

私も3月を持ちまして国際交流員を卒業することになり、今回3月のコラムは私の最後のコラムになります。

皆さん、今までありがとうございました！宮崎での4年という時間はゆっくりそして早く過ぎ去りました。これまでの宮崎での時間を振り返ってみたら、辛かった時間も、幸せだった時間も宮崎で過ごした時間すべてがプレゼントのように感じます。また、プレゼントのように感じれる大切な人たちとも出会うことができました。不器用で足りないところもたくさんある私を、いつも温かい心と視線で見守ってくれる人たちがいたから、宮崎で過ごした4年が温かい時間になりました。

韓国では「会者定離 去者必返」という言葉があります。出会いがあれば別れもあり、去った物は必ず立ち戻るという意味です。今は宮崎と離れますが、私の人生でもう一回宮崎との縁があると信じているので、私がまた宮崎に戻ってきたら笑顔でお迎えくださいね！

4年間、宮崎だから好きで、宮崎だからよかったと思います。

今まで本当にありがとうございました。

それでは、また会いましょう！アンニョン！